

No.	13-4-1	場所	大鹿村鹿塩	次世代への継承キーワード
名称	押し出した土砂で埋まった塩川の橋			避難所立地
災害現象	橋梁の被災			河川 塩川
補足事項				支流

諏訪市 岡谷市 辰野町 箕輪町 南箕輪村 伊那市 高遠町 長谷村 宮田村 駒ヶ根市 飯島町 中川村 **大鹿村** 松川町 高森町 豊丘村 喬木村 上村 飯田市 南信濃村 清内路村 阿智村 浪合村 平谷村 下條村 阿南町 売木村 天龍村

最大の災害は大西山の大崩落であった。ただ、被害は小渋川流域だけでなく支流の青木川・鹿塩川など流域全域に及んだ。とくに北部の鹿塩川上流の北川では鉄砲水が襲い掛かり、人命・家屋・農地が失われた。二十九日まで人々が孤立無援の状態で、ようやく三十日に新聞社ヘリの救助が入った。

●体験談：災害当時、名古屋市の日東毛織 KK 勤務
 詳しく話を聞くと、**私の両親達は自分の家で死んだのではなく、隣の家へ荷物を全部運び、避難した所でやられたのだそうです。**
 (中略)
 その家の横には普段は小さな沢なのですが、その時は雨が降り、水が出て大きくなってしまったのです。水だけならまだよかったのですが、**山の地がゆるみ、山がぬけて沢の水と一緒に出てきたのです。沢は広まり、逃げる間もなく…。**人々は口々に、
「家の中へなんか入らずに、どうして道の方へ逃げなかったものか。」
 なんて今だからいうのですが、父母達にしてみれば、精一杯の逃げ方をしたのだと思います。

(注)〇〇さんは三十六年三月大鹿村鹿塩中学校を卒業し、名古屋市の日東毛織 KK に勤務したが、三十六年六月二十七日、梅雨前線豪雨による、同村鹿塩梅の木沢の決壊により住宅が崩壊、父△△さん(当時四十七)母●●さん(四十一)弟▲▲君(十二)妹☆☆ちゃん(九つ)を失い、水害孤児となった。

(「濁流の子」より)

記 録

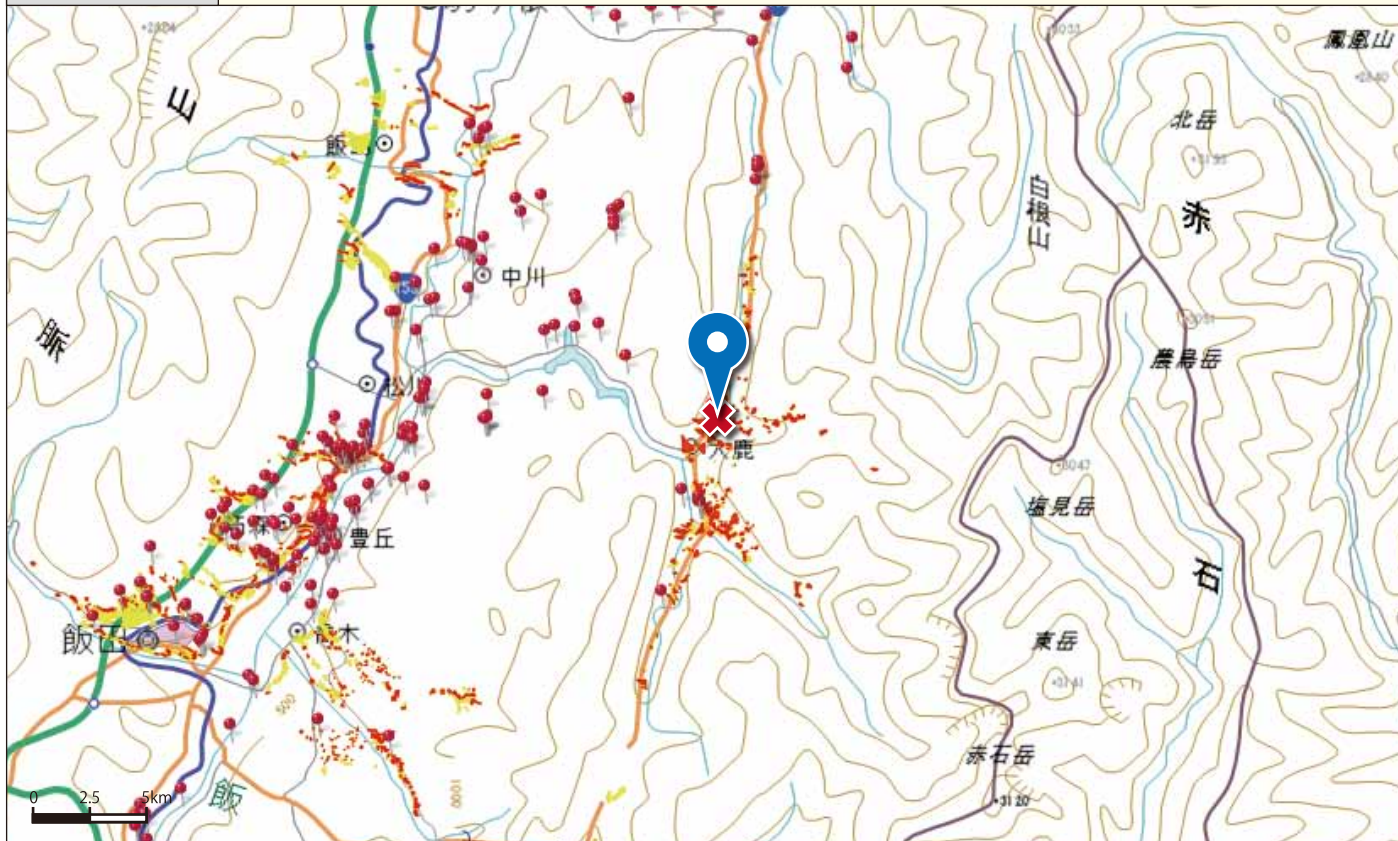


押し出された土砂により、埋まってしまった北川に架かる橋

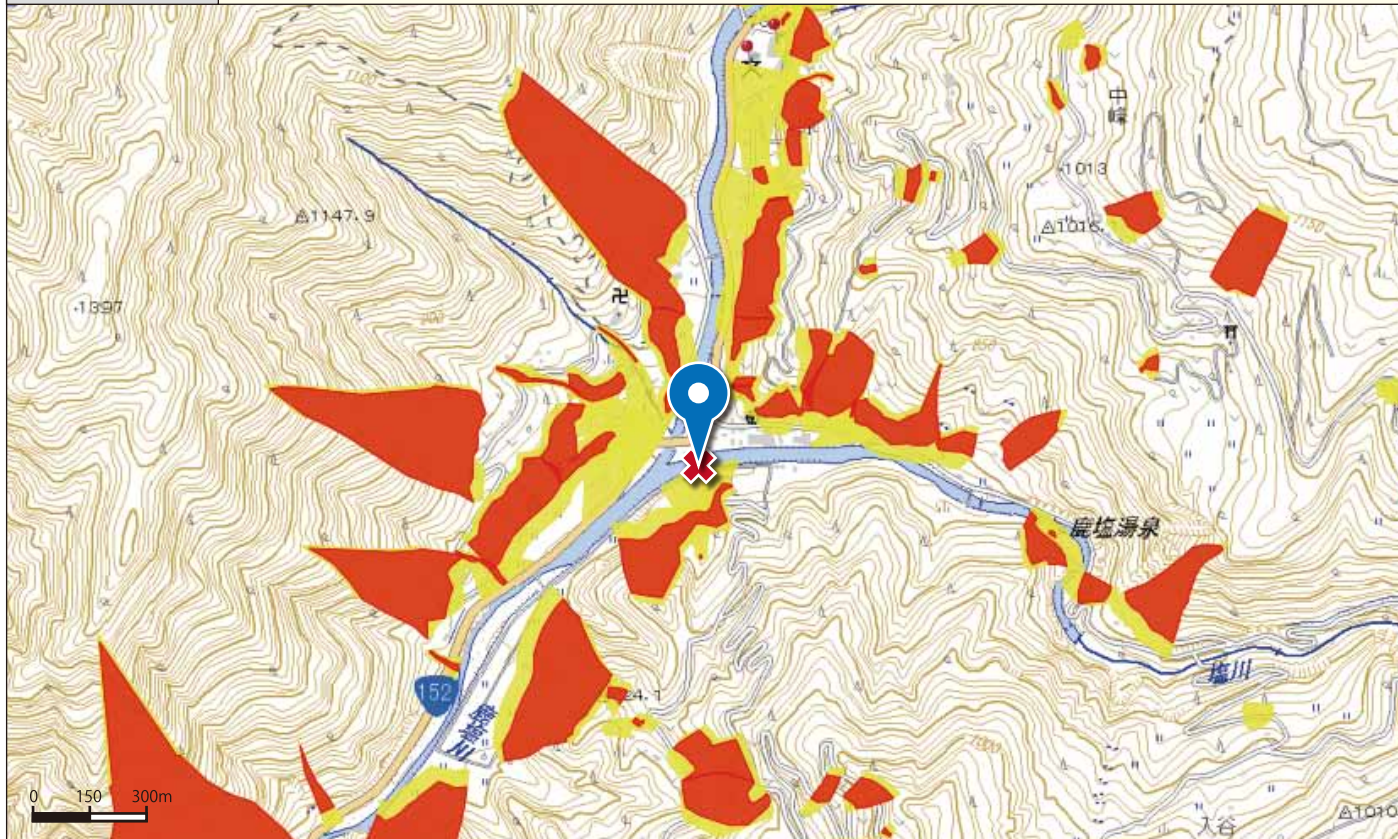
出典	「濁流の子」p.152
備考	

No.	13-4-1	場所	大鹿村鹿塩	緯度	35.588452
名称	押し出した土砂で埋まった塩川の橋			経度	138.047290

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。